

まつだ やました はるひろ
松田(山下)治廣(1938～)



体操選手。オリンピック金メダリスト。宇和島市出身。県立宇和島東高等学校では、体操教師、野本迪甫に指導を受ける。卒業後は、日本体育大学の助手であった河野昭の勧めにより、同校へ進学し、体操選手として頭角を現わす。大学卒業後、全日本チームに入り、伸身跳びしかなかった跳馬に、前転跳びに屈伸を組み込んだ「山下跳び」を自力で完成させる。第18回オリンピック・東京大会では、さらにひねりを加えた「新山下跳び」を披露して、金メダルを獲得した。「山下跳び」は、今では世界の体操競技書に基本技として紹介されている。一線を引いた後は、日本体育大学教授を務め、後進の指導に励み、オリンピックメダリストの監物永三や塚原光男ら多くの優秀な選手を育成し、選手として、指導者として日本体操界黄金期の一翼を担った。

略歴

- 昭和13(1938)年11月15日 宇和島市に生まれる。
- 昭和32(1957)年3月 宇和島東高等学校卒業
- 昭和36(1961)年3月 日本体育大学卒業
- 昭和37(1962)年 世界体操競技選手権プラハ大会に出場。団体総合優勝、個人総合6位、種目別の跳馬2位
- 昭和39(1964)年10月 第18回オリンピック・東京大会に出場。体操競技団体総合優勝、種目別の跳馬で優勝、個人総合6位、種目別の鞍馬4位
- 昭和41(1966)年 世界体操競技選手権ドルトムント大会に出場。団体総合優勝、個人総合13位、種目別の跳馬優勝
- 昭和51(1976)年 第21回オリンピック・モントリオール大会に女子コーチ兼日本選手団総務として出場
- 昭和58(1983)年 日本体育大学の教授となる。
- 平成2(1990)年 中華人民共和国の北京での第11回アジア競技大会に体操競技日本代表監督として出場
- 平成12(2000)年5月3日 宇和島市より名誉市民称号が贈られる。
6月3日 国際体操殿堂入り

(写真提供：松田治廣氏)

〈関連図書〉

- ・松田治廣他『男子体操競技』 成美堂出版 1971年
- ・『えひめ 人 その風土』 愛媛放送株式会社 1986年
- ・松田治廣他『図解コーチ体操競技・女子』 成美堂出版 1994年
- ・『日本体育・スポーツ教育体系』 教育出版センター 1994年
- ・日本体育大学学友会運動部『トップアスリートを創る』 大修館書房 2002年

〈主な収蔵資料〉…(P239, 197)

〈ゆかりのある場所〉…(P320, 228)